

ジェンダー平等に向けて

Q 役場内の女性管理監督職の登用率は

A 現在23・4%で、伸びている

Q 学校などのトイレ個室に生理用品の整備を

A 学校と協議、検討していく

江藤 以前より女性登用率は伸びているのは、評価できる。さらに、女性も働き続けられるよう、制度的改善や職場づくりに努められたい。

町長 男女の観点ではなく、本人のアンケートや人事評価に基づき登用している。令和5年4月までに、30%目標に向け取り組む。

江藤 経済的負担の軽減の面からだけでなく、「学習権の保障」や「女性の健康・尊厳」などジェンダー平等の面からもトイレの生理用品整備が必要。一か所からでも始めてほしい。

町長 町は赤十字の寄付金をもとに生理用品を保健室に用意している。(就学援助を受けている世帯向け)しかし、受け取りはない。トイレに常備することには様々な課題が考えられるが、学校と協議、検討していきたい。



安全のために PTA の会計から購入した安全マット

江藤 公教育である学校に、任意団体である PTA 会計から、コロナ対策や ICT 教育、安全対策にむけて備品や消耗品などの支出がなされている。町の予算で整備すべきではないか。

教育予算
Q PTA 会計からの学校教育への予算執行は
なくすべきではないか
A 学校で使用する物品は町が負担すべき。学校に確認、指導する



江藤美代子 議員

学校施設管理

Q 学校プールの改善策と今後の計画は

A 改善して対応、整備計画は未定

野田 広川町の学校プールは老朽化が進み改善の必要があると思われるが。

教育長 建設から50年を迎え、老朽化が著しいが、現在は改善をして使用している。

野田 改善には多額の費用を要すると思うが、今後の計画はどのようになっているのか。

教育長 現行のままプールを新設するのか、統合して共同利用



野田 成幸 議員

できる施設を設置するのか、合理的に判断したい。
野田 下広川小学校の運動場の整備計画についていかががう。
教育長 交差点改良計画や旧下広川学童保育場跡地、熊野神社参道など全てを一体的に捉えて最も効率的な整備をスピード感を持って進める。

野田 千葉県にて下校中の児童を巻き込んだ悲惨な事故が発生している。広川町の通学路の点検等安全対策はどの様になつて

全対策はどの様になつて

教育長 安全確保

に向けて「広川町通学路安全推進会議」を設置して

る。道路を管理する関係機関と危険個所の改善の検討

を行っている。

野田 児童や保護者からの申し入れ

はあるか。

教育長 各PTA

Q 通学路等の安全確保はどの様になっているか

A PTAや関係機関と協議し安全対策に努める

通学路安全確保



上陽三瀬線通学路の現状

と協議行い危険個所の一覧を制作、点検を早期に実施し安全対策に努める。